

松前町

# 議会だより

No.95

2017年11月1日発行

愛媛県伊予郡  
松前町議会

9月定例会



2P 9月定例議会

4P 決算認定

9P 議会人事

10P 委員会ニュース

15P 一般質問

↳

計画変更に伴う町道路線の廃止と認定は 他

105.3億円の使い道は 他

14人の新人事決定

放置自転車にやっと解決策が！

「ズバリここが聞きたい」

4人の議員が登壇

～雨にも負けず、ゴールめがけて走る 走る！

(松前町ホッケー公園にて)

※国体関連記事は、24ページに

# こんなことが決まりました

9月定例議会は、えひめ国体開催のため時期を繰り上げて、8月29日から9月13日にかけて16日間の会期で開かれました。審議内容の主なものは以下のとおりです。

## ◎議員提出議案(第2号) 国に道路整備事業の補助率を現行維持するように 意見書を提出するもの

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」

における補助率等の高上げ措置の継続に関する意見書を議員全員の合意の下、国に提出する。

### ●提案理由

来年度以降の補助率等の実質的な提言は、迅速かつ着実な道路整備の停滞を招き、全力を挙げて取り組んでいる地方創生の実現に大きな影響を与えるもの。  
今まで通りの率を維持して頂きたい。

### 提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 総務大臣
- 国土交通大臣
- 内閣官房長官

## ★質疑や議論になったこと

### ★訴訟上の和解について

土地の所有権をめぐって町と住民の間で異なる主張があり係争中であったものが、この度和解することになった。

よって町は、相手方に対し本件土地の固定資産税相当額と損害金を支払い相手方も滞納分を支払い町への所有権移転登記手続きも完了することになる。

### 意見

昭和45年ごろの随分前の土地の売買について未登記だったり、契約書の存在が明確でなかった。住民と町の十分な話し合いがなされず時間がたってしまっただけではないか。このような物件や類似の事象が他にもあるのではないか。町として迅速な文書管理や信頼関係の中で解決を望む。

(全員一致で可決)

## ★平成29年度9月補正予算

一般会計 2億4737万円 増額  
特別会計 8772万円 増額

報告1件、条例3件、予算関係4件、決算認定2件、意見書の提出1件、議決を求めるもの3件、同意を求めるもの6件、合わせて20件の議案が提出された。即決を除き、各常任委員会に付託。本議会場においても十分な議論を経て、全案件を全員一致または賛成多数で可決した。(詳細はP10~14に)

## ★決算認定2件

- ①平成28年度松前町歳入歳出決算
  - ②平成28年度松前町水道事業会計決算
- (詳細はP4~8に)

## ★松前町固定資産評価審査委員の任命

松前町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い後任の委員の選任について議会の同意を求めるもの。  
全員一致で同意  
(詳細はP13に)

## ★人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、後任委員の候補者の推薦について議会の意見を求めるもの。  
全員一致で承認  
(詳細はP13に)

## 〈追加議案〉

### 最終日に提出

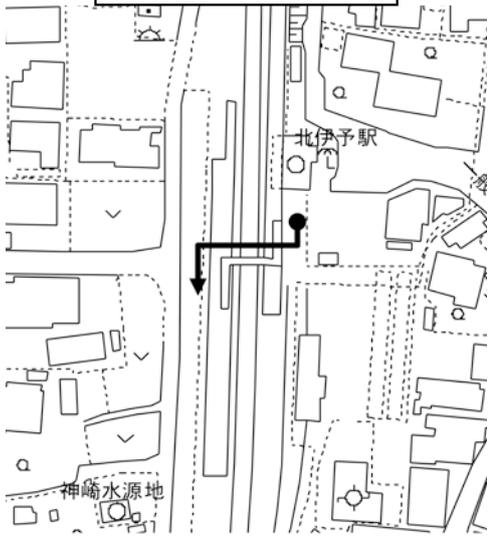
・郡中線、古泉駅・松前駅間鉄道施設廃止新設工事基本協定の締結について  
次頁のような議論はあったが、協定については賛成多数で可決した。

内容	路線	起点	終点
廃止	町道東 176 号線	松前町大字神崎字弁天	松前町大字神崎字弁天
認定	町道東 176 号線	松前町大字神崎字弁天	松前町大字神崎字庵ノ浦

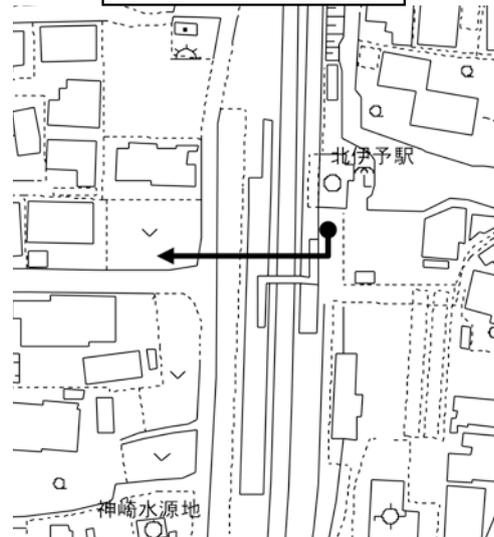
★JR北伊予駅自由通路の計画が変更になったことに伴い、路線の廃止及び認定を行うもの。  
 (ともて全員一致で可決)



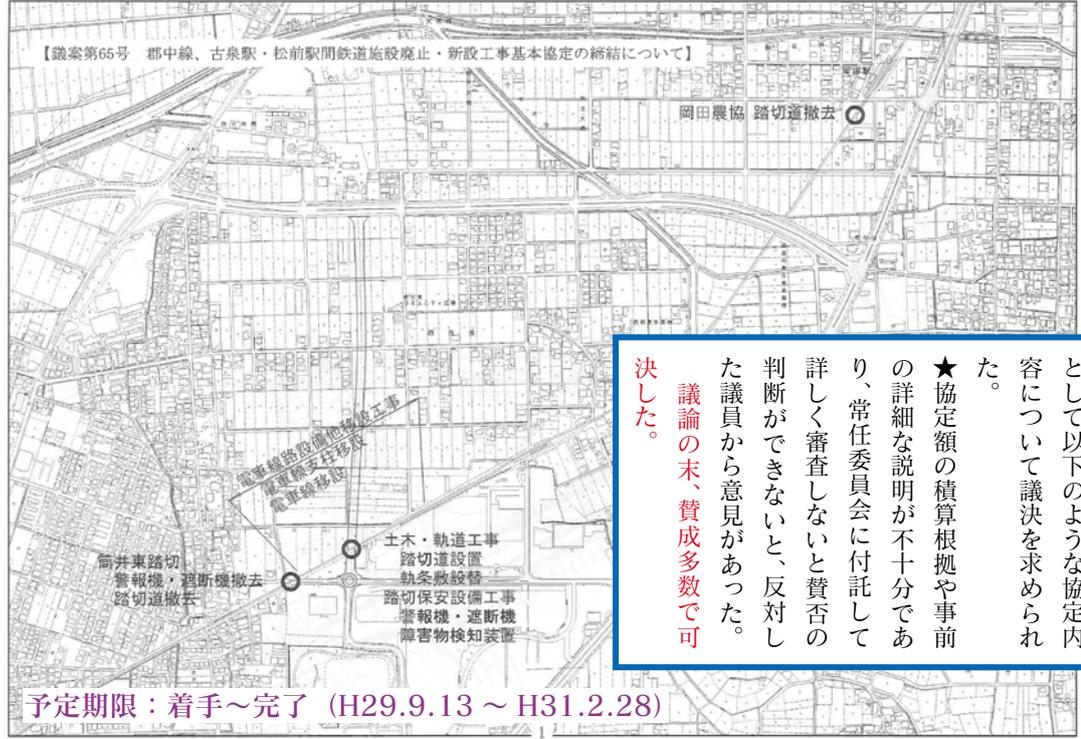
認定路線



廃止路線



計画変更に伴う町道路線の廃止と認定は



★議会最終日に、追加議案として以下のような協定内容について議決を求められた。  
 ★協定額の積算根拠や事前の詳細な説明が不十分であり、常任委員会に付託して詳しく審査しないと賛否の判断ができないと、反対した議員から意見があった。  
 議論の末、賛成多数で可決した。

追加議案

伊予鉄道との踏切施設廃止と新踏切の設置の協定に議決は！

予定期限：着手～完了 (H29.9.13 ~ H31.2.28)

委託工事名	契約方法	施行場所	協定額	協定の相手方
郡中線、古泉駅・松前駅間鉄道施設廃止・新設工事	特命随意契約	松前町大字 東古泉、昌農内	132,320,000 円 (内、債務負担行為 81,920,000 円)	松山市湊町四丁目4番地1 伊予鉄道株式会社 代表取締役社長 清水 一郎

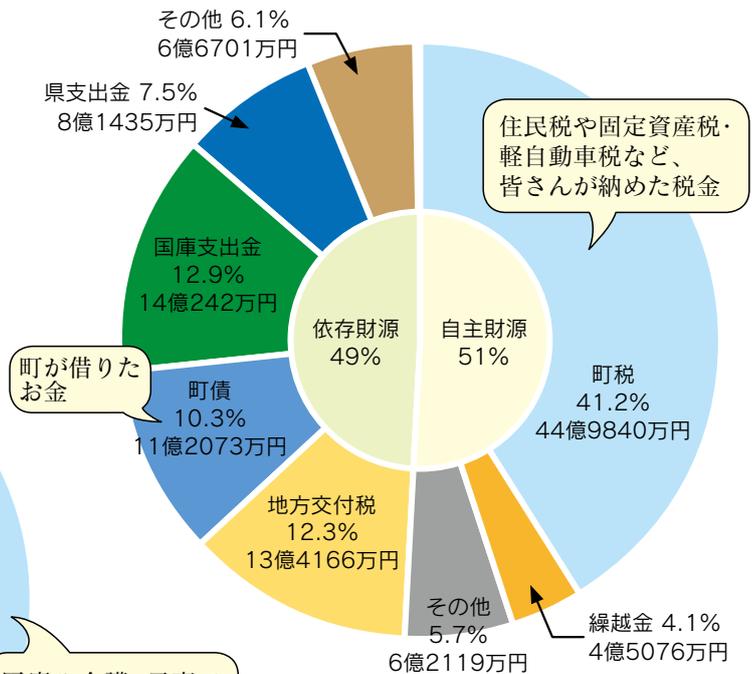
平成28年度 決算審査 前年度比8.8%増

一般会計

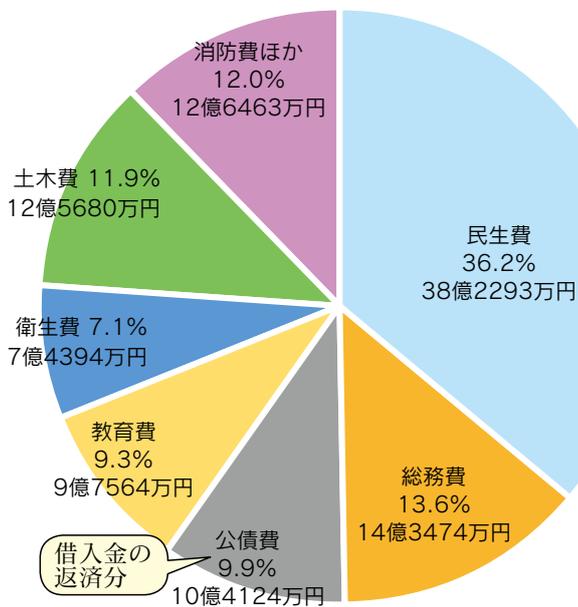
105.3億円の使い道は!?

予算決算常任委員会で2日間かけて審査した。全議員出席のもと、執行部に対しお金の使い道を徹底検証し、厳正な審査の末、平成28年度松前町歳入歳出、水道事業会計の決算を認定した。

歳入 109億1657万円



歳出 105億3995万円



平成28年度 町の財政成績表

- ・財政力指数 (前年比) 0.753 (+0.015)
- ・経常収支率 88.1% (+1.7)
- ・実質公債費比率 9.3% (-0.7)

※ 1万円未満は切捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

そのほかの会計別決算状況

(単位：円)

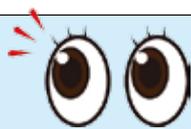
会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	39億8477万	37億4169万
公共下水道事業特別会計	6億 222万	5億8919万
介護保険特別会計	26億8832万	26億 924万
後期高齢者医療保険特別会計	4億5021万	4億2437万
水道事業会計	収入	支出
収益的収支	4億5111万	4億2404万
資本的収支	1億 539万	2億3773万

**【財政力指数は】**  
指数が高いほど自主財源の割合が高い。昨年度より若干の改善。

**【経常収支率は】**  
財政の弾力性を示す指標。低いほど政策に使える財源が多い。28年度は経常経費の増大により悪化した。

**【実質公債費比率は】**  
収入に対する負債返済の割合。少ない方がいい。24年度から徐々に減っており、28年度も健全な状況といえる。

28年度決算



# 注目すべき 目玉事業は！

決算額は28年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。  
(国・県補助金等を含まない町の一般財源のみ)

## 地方公会計整備のために

固定資産台帳整備

866  
万円



公共施設維持管理基金

〔公共施設の維持、管理及び更新に対応するための基金〕



3,000  
万円

## 子育て世帯応援事業として

放課後児童クラブ施設整備  
(北伊予校区)

1,836  
万円



乳幼児・児童医療費助成

(0歳～中学卒業、  
保険適用分まで支援)

5,342  
万円



## 公民館耐震化事業に着手

西公民館

653  
万円



北公民館

758  
万円



## 女性の視点を町政に

まちづくり女性会議 他  
おしゃれなまさき推進事業

620  
万円



## 消防詰所建設

第4分団消防詰所

1,997  
万円



消防団装備品購入

560  
万円

## 地域産業振興で

町を元気に

856  
万円



はだか麦プロジェクト

21  
万円



小中学校に設置されている  
テレビ・音響映像放送設備  
の更新(5年リース)

424  
万円



職場環境にも、「働き方改革」を！  
いかに適切な行財政運営をするかが鍵

Q & A

決算審査の  
質疑から

総務産業建設所管の審査より

**Q** 町政懇談会の参加人数と開催の成果は。

**A** 参加者は、各地区20名から50名程度である。町政について、直接聞くことができた幅広い意見と対応については、ホームページで公表している。区長さんには各校区分の意見を一覧にして渡している。  
今後も町政懇談会は、町長の意向で来年度以降も実施していく。

**Q** 職員の有給休暇の取得率は。

**A** 平均の取得日数は、平成26年度は1人当たり7.8日、平成27年度は1人当たり8.3日である。

有給休暇の取得率は、平成28年度、20%を少し切る程度である。対策として、月に1日、ワークライフバランス休暇を取得するよう積極的に取り組んでいる。

※ワークライフバランスとは仕事と生活を共存させ、調和のとれた人生を生きること。

意見

時間外勤務が一部の職員に偏っている。健康管理面を含め、特定の職員に業務の偏りがないようにしつつフォロワー体制を構築するべき。

**Q** 平成27年度決算認定での反省点を踏まえ、平成28年度に実施したものはあるのか。

**A** 昨年度、事務事業評価を実施し、課及び係の目標の進捗状況を把握し、次年度予算に反映するよう対応している。

**Q** 6億9千万円の余剰金とは。

**A** 余剰金は、事業を実施した結果、入札減少金や経費の削減等により余剰が生じたものである。

また、基本的には一般財源であり、町税が予算額より増額となるなどの歳入の増加と、歳出の削減を併せたものである。

増加部分と減少部分の内訳は個々には算出していない。

**Q** 経常収支比率の今後の改善のために、どのような努力をしようのか。

**A** 扶助費が毎年1億以上増加している。予算全体をできるだけ精査し改善に努めたい。

**Q** 工業振興の雇用促進奨励金の交付算定基準は。

**A** 交付金額は条例で一人40万円と定められている。企業から申請があったものを、町で審査し基準を満たしたものに交付している。



東レ 愛媛工場



(珍珠組合 見本市)

**Q** 新規事業以外の28年度の事業で、前年度の決算審査結果を反映した事業は。

**A** 松山圏域の中小企業の販路開拓市に28年度から参加し、県内外の企業に町内5業者のPRや販路の開拓ができた。29年度も継続する。

また、四国珍珠商工協同組合への事業で、東京で開かれた全国のバイヤーが集まる2つのイベントに参加し商談を実施した。その結果80の業者と商談、内29件が成立し、契約金額1550万円の成果があった。

**Q** 口座振替可能な銀行の新規開拓や住民税特別徴収の口座振替の検討は。

**A** 口座振替可能な銀行の新規開拓は、県外納税者の利便性を考えて検討を行ったが、現状では支障が無いため検討だけで終わった。

住民税特別徴収の口座振替の検討については、県内の自治体でもほとんど行っておらず、事務処理も煩雑になるため実施できていない。ただし、口座振替の要望もあるので、引き続き検討を行う。

**Q** 税の徴収率が上がっているが、平成28年度の成果はどうか。

**A** 新たな取組として県との相互併任制度を導入して徴収率の向上を目指した。継続的な徴収事務の取組により、4年連続県下1位の徴収率になっている。

**Q** 公共下水道事業特別会計において、受益者負担金の徴収率と下水道への接続率は。

**A** 負担金徴収については徴収増に向け努力していく。接続推進のため、工事実施前には戸別訪問を行い、今後とも接続してもらうよう説明を行っていく。

## 文教厚生所管の審査より

**Q** 放課後児童クラブ保育料の滞納対策は。

**A** 滞納者に納付書を送付し、納付を促している。また、了解を得た方については、児童手当から滞納分を差し引くようにしている。払い忘れを防止するため、口座振替で納付できるよう、条例改正の準備を進め、滞納解消に努める。

**Q** 事業の見直しは。

**A** 相談実績のなかったDV電話相談事業を廃止し、その対応として、DV関連相談窓口の案内を充実させることとした。

平成29年度からは、保育幼稚園係を新設しており、保育所と幼稚園の窓口を一本化して住民サービスを向上するとともに、職務分担を見直し、偏りがないように努めている。

## 意見

改善状況が、住民にも分かりやすい数字で見えるように工夫してほしい。

**Q** 避難行動要支援者名簿の作成状況は。

**A** 同意を得た方の名簿は、自主防災組織や民生委員などに配布し、地域の状況を把握してもらう。有事の際は、法律に基づき、関係機関等と連携し、要支援者の救助に活用する。また、総務課所管の被災者支援システムにも連携可能である。



放課後児童クラブ (北伊予地区)

## 意見

災害時の円滑な対応につながるよう、活用方法を研究しては。



**Q** 保険事業勘定の不用額が大きいが、介護保険料を下げることはできないのか。

**A** 介護保険料は、基本3年ごとに見直すこととなっている。来年度からの保険料は、現在策定中の第7期計画により定める。策定中のため、介護保険料が上下するかは不明だが、介護保険事業運営基金は第7期計画時に投入する予定である。

**Q** 個人番号カード交付率の向上に向けた取り組みは。

**A** 交付率は、7月末時点で県内4位である。個人番号カード普及のため、ホームページで広報を行うほか、土日しか来庁できない方のため、閉庁日にも交付窓口を開くようにしている。

**Q** 各小中学校のテレビの更新は。

**A** 購入する場合とリースする場合の費用を比較し、安価で5年後に町へ譲渡されるという条件も勘案し、リース方式による更新にした。また、パソコンも接続できるテレビを選んでいる。



**Q** がん検診受診の取り組みは。

**A** 健診後、精密検査が必要な方は、電話等により受診勧奨を行っている。

## 意見

がん発見率をホームページ等で公開するなど、受診への関心を高めるように工夫しては。



がんの早期発見が、健康寿命につながる。

**Q** 学校営繕に関し、危険箇所工事着手を早期にできないのか。

**A** 夏休み等の児童生徒がいない時期になってしまふ。危険箇所については、工事完了まで児童生徒が入れないよう処置をしていた。調査・設計等で時間がかかる場合もあるが、早急に取り組むべき工事は早期に着手できるように検討する。

## 水道事業会計決算審査の内容

**Q** 水道の有収率は。

**A** 水道管の漏水対策を実施したことで少しずつ改善しているが、95%程度が限界であると考えている。今後、数値が下がった場合は、漏水調査を実施し対応したい。



議長・副議長 就任の挨拶



議長 八束 正

町民の皆様には、日頃より町政並びに町議会に対しまして、格別の御理解と、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
この度、議員各位の御推挙により議長の要職に就任いたしました。

4月に町議会基本条例が制定されました。議会がより信頼され、開かれたものになるよう、全力で改革に取り組んでいく所存ですが、責任の重さをひしひしと感じています。更なる松前町の発展のため、これからも御指導、御鞭撻を賜りますようお願いいたします。



副議長 稲田輝宏

このたび、副議長に御推挙いただきました。身に余る光栄に存じます。

微力ではございますが、誠心誠意をもって新議長を全力で支えてゆき、議会運営が円滑になるよう努力してゆきます。

正副議長の改選について

議員間の申し合わせ事項で、議長の任期は2年。今回、議長の辞職により、新議長の改選を行った。副議長が新議長に当選したことにより、副議長の改選も行った。

☆ 14人の新人事決定 (平成31年8月末まで)

総務産業建設常任委員会

(総務部・産業建設部等の所管に属する事項担当) 7人



委員長 岡井馨一郎



副委員長 田中 周作



委員 早瀬 武臣



委員 八束 正



委員 村井慶太郎



委員 影岡 俊範



委員 金澤 浩

文教厚生常任委員会

(保健福祉部・教育委員会の所管に属する事項担当) 7人



委員長 城村トキ子



副委員長 住田 英次



委員 伊賀上明治



委員 三好 勝利



委員 加藤 博徳



委員 藤岡 緑



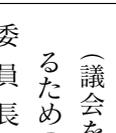
委員 稲田 輝宏

予算決算常任委員会

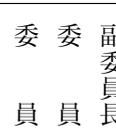
(予算・決算の事項担当) 13人



委員長 加藤 博徳



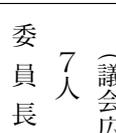
副委員長 影岡 俊範



委員 早瀬 武臣



委員 藤岡 緑



委員 岡井馨一郎



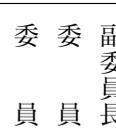
委員 加藤 博徳



委員 稲田 輝宏

議会運営委員会

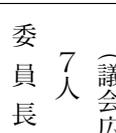
(議会を円滑に運営するための組織) 6人



委員長 早瀬 武臣



委員 藤岡 緑



委員 岡井馨一郎



委員 加藤 博徳



委員 稲田 輝宏

一部事務組合

組合議会の担当議員は、以下のとおりです。

伊予市松前町共立衛生組合 議員

伊賀上明治 三好 勝利 城村トキ子 影岡 俊範

伊予地区ごみ処理施設管理組合 議員

岡井馨一郎 藤岡 緑 金澤 浩

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合 議員

加藤 博徳 村井慶太郎 田中 周作

伊予消防等事務組合 議員

早瀬 武臣 稲田 輝宏 住田 英次

予算決算

委員会  
ニュース

会計補正予算

北伊予駅自由通路は  
平成31年度の完成目標！

**問** 滞納整理システム改修の費用対効果は。

**答** 滞納整理に係る人件費の削減、事務の省力化・効率化を図るという考えに基づき改正する。

**問** 『紅い雫』生産拡大支援事業及び新規漁業就業者定着促進事業の県補助金は。

**答** 『紅い雫』事業の県要綱は単年度事業であり、県担当者は、3年間程度の継続を考えている。

また、新規漁業就業者に対しては、最大3年間の継続事業である。

※「紅い雫」とは、県の推奨農産物で、種目はいちじく。

**問** 新規就農者の定着に對しての確認作業や、サポート体制は。

**答** 新規就農者から提出された計画書を町が確認・認定し、現地でも施設の確認を実施している。

また、県の農業指導班が営農に對しての指導を行い、定着に對してサポートを実施している。



**問** 北伊予駅自由通路の完成時期は。

**答** 当初は、平成30年度を予定していたが、エレベーターを設置するよう変更したため、平成31年度末の完成を目指す。



完成予想図

松前町介護保険  
特別会計補正予算

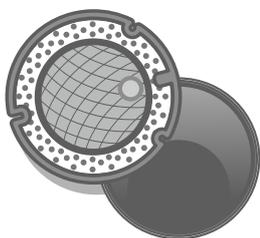
前年度の決算に伴い国、支払基金及び一般会計に返納すると共に、運営基金に積立てる。また、庁内LAN整備の経費を補正する。  
特に質疑はなかった。

松前町公共下水道事業  
特別会計補正予算

公共下水道事業に公営企業会計を導入するため、企業会計への移行業務の経費を補正する。

**問** 公営企業会計導入について、総務省からの通知が平成27年度であるが、なぜ、今年度実施するのか。

**答** 当初、詳細な説明がなかったが、近隣市町の動向を注視し、国などに問い合わせた。  
平成31年度までに企業会計に移行すれば地方債の対象となり、交付税措置もあるということなので今年度から取り組んでいくことにした。



# 平成29年度 一般・特別

**問** 岡田中学校に設置する特別支援教室の空調設備とは。

**答** 体温調整ができない児童が来年中学校に入るため、教室に業務用エアコン1台を設置する。

**防犯対策を強化し、  
児童・保護者の  
安心安全を確保！**

**問** 保育所に設置する防犯カメラの内訳は。

**答** 統合保育所に4台、黒田保育所に3台、小富士保育所に3台、二名保育所に2台、白鶴保育所に1台、計13台設置したい。

（今後の審議に対して）

**意見**

予算書での説明では、各事業の内容や金額の確認が難しいので改善してほしい。

**答** 現在、主要事業については参考資料に記載しているが、全部の内容の記載については今後検討していく。



## 平成29年度一般会計補正予算概要

■予算総額（第2号）+（第3号） （単位：円）

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	100億3318万	2億4737万	102億8055万	2.5%
前年度	103億0387万	2億9292万	105億9679万	2.8%

■松前町一般会計補正予算(第2号)主要事業 （単位：円）

科目	項目	金額
総務費	社会保障・税番号制度事務事業	549万
民生費	保育所防犯カメラ設置事業	294万
農林水産業費	認定農業者経営改善支援事業	682万
	土地改良	1000万
土木費	JR車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業	1億2501万
	公園管理事業	500万
教育費	幼稚園防犯カメラ設置事業	136万
	公民館耐震化事業	125万

# 総務 産業建設

## 条例改正で業種や指定エリアの

### 拡大化が図れるように！

④9 松前町工場立地促進条例の一部を改正する条例の審査

#### 要旨

農村地域工業等導入促進法の改正に伴う根拠法の名称変更及び支援対象業種の拡大について、対応する所要の改正を行うものである。

問 改正後に南黒田工業団地は対象となるのか

答 現在の条例を適用している地域は、工業専用地域、工業地域、法律で指定している地域となる。南黒田地区は指定されていないので対象とならない。

問 対象業種が国の審議の中で『工業』から『産業一般』となり業種を限定していないようだが、福祉や介護サービスなどはどうなるのか。

答 業種を産業とすることにより工業以外でも

参加できる可能性は拡大した。農水産物加工場、直売所、農家レストラン等を想定しているが、国から詳細について示されていない。福祉、介護サービスも同様に運用が基準がないので判断できない。

問 農村地域は市街化調整区域で開発に制限がある。今回の条例改正で規制緩和や町単独でも判断できるのか。

答 農地法や農業振興地域の整備に関する法律の問題をクリアすることが必要。今後は県が基本計画を策定し、町が事業実施する際に実施計画を定める方式なので町単独での判断はできない。

問 この条例改正は町にとつて有利か。

答 業種の拡大はされるが、関係法の問題点のクリアやその他の法令との関連で、現時点での判断は難しい。  
**(全員一致で可決)**



# 文教厚生

## 放置自転車に

### やっと解決策が！

④7 松前町放置自転車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例

#### 要旨

放置自転車の発生を防止し、安全で快適な生活環境及び地域の美観の維持を図るため、新たに制定するもの。(保管地おもし通り高架下)

問 J Rの駅にある放置自転車管理するのはなぜか。

答 底地の持ち主が管理することになっているため。

問 同様の条例を実施している市町の状況は。

答 県内町では、年間3台から6台程度の処分実績がある。

問 放置禁止区域指定は町内では、大規模な放置箇所はないため指定しない。

問 放置防止のための抑止力としては内容が弱いのでは。

答 条例は放置自転車の処理を中心としている。今後の状況を勘案し検討していく。

問 条例の運用方法は。

① 放置自転車として保管地へ移動した後は所有者を探し、連絡をとり、その後の処理を進める。

② 放置とみなす期間は、駐輪場なら警告書を添付して2週間を目安とする。路上など交通の支障となる時は速やかに保管地へ移動。

③ チェーン等で自転車が移動できない場合は、その場で管理し、町に所有権が移動した場合は、処分する。

問 保管地に放置自転車を置くことで、通学路の見通しが悪くなるか。



見過ごされてきた放置自転車

答 保管地は通学路に影響のない位置に設定している。

問 放置自転車は町が処分するということを、明確に示す必要があるのでは。

答 駐輪場へのラミネート看板の設置や、ホームページでの周知を行う。

問 保放置自転車の管理は、所管課ごとに行うのではなく、一括管理する担当課を決めたほうがよいと思うが。

答 今後の運用状況から検討する。  
**(全員一致で可決)**

報告事項

⑤平成28年度決算に係る

財政指標の報告

平成28年度の早期健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類はいずれも適正に作成されているとの監査委員の報告があった。

(左表を参照)

平成28年度 健全化判断比率及び資金不足比率報告		
健全化判断比率	平成28年度(%)	早期健全化基準(%)
実質赤字比率	—	14.22
連結実質赤字比率	—	19.22
実質公債費比率	9.3	25.0
将来負担比率	81.1	350.0

※実質収支と連結実質収支が黒字のため、健全財政です。  
実質赤字比率と連結実質赤字比率はありません。

※資金不足額が無いため、資金不足比率はありません。

会計名	比率名	平成28年度	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足比率	—	20.0
公共下水道事業特別会計	資金不足比率	—	20.0

条例の一部改正

④松前町立保育所条例の一部を改正する条例の改正

宗意原保育所を松前保育所に統合し、松前保育所を新築移転して名称を変更するため左記の様に改正する。

	名称	位置
改正前	松前保育所	松前町大字筒井 1326 番地 2
	宗意原保育所	松前町大字筒井 1188 番地 2
改正後	松前ひまわり保育所	松前町大字北黒田 187 番地 4

(全員一致で可決)



人事案件

⑤⑥

松前町固定資産評価審査会の委員の選任

任期満了となるので後任委員の選任について議会の同意を求めらるるもの。

(再任)

篠原 功(恵久美)

(再任)

村上 朋子(浜)

(新任)

篠崎 厚夫(横田)

以上3人が選任され(全員一致で同意)



⑦⑧

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了となるので後任委員の候補者の推薦について議会の意見を求めらるるもの。

(再任)

水本 諭(浜)

(再任)

松田 雅子(鶴吉)

(新任)

郷田 和美(恵久美)

以上3人が推薦され(全員一致で承認)



台風18号の襲来を受けて...

先日(9月17日)の台風18号の襲来を受けて、改めて多くの住民の皆さんが風水害の脅威を感じられたのではないかと思います。

重信川破堤の危険水位に迫る雨の勢いに周辺住民はどう行動すべきだったのか。また長尾谷川流域の越水で低地浸水が起こり実際に被害に遭われた皆さんにどう対応したらよかったのか。

私たち議会としても、なるべく早期に、今回の経験から色々な反省点を踏まえ行政と共につかり検証していきたくと考えています。  
★被害に遭われた皆さんに対し、心より御見舞い申し上げます。



# 9月定例議会

## 提出議案等への各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 △議長

議員名		関連ページ	住田英次	田中周作	金澤浩	影岡俊範	稲田輝宏	城村トキ子	村井慶太郎	藤岡緑	加藤博徳	八束正	岡井馨一郎	早瀬武臣	三好勝利	伊賀上明治
報告・議案等番号、内容																
報5	平成28年度決算に係る財政指標の報告について	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—
議2	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」における補助率等の嵩上(かさあ)げ措置の継続に関する意見書の提出について	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
47	松前町放置自転車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
48	松前町立保育所条例の一部を改正する条例	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
49	松前町工場立地促進条例の一部を改正する条例	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
50	訴訟上の和解について	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
51	松前町道路線の廃止について	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
52	松前町道路線の認定について	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
53~55	松前町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
56~58	人権擁護委員候補者の推薦について	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
59	平成28年度松前町歳入歳出決算認定について	4 5 8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
60	平成28年度松前町水道事業会計決算認定について	4 5 8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
61	平成29年度松前町一般会計補正予算(第2号)	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
62	平成29年度松前町一般会計補正予算(第3号)	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
63	平成29年度松前町介護保険特別会計補正予算(第2号)	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
64	平成29年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
65	郡中線、古泉駅・松前駅間鉄道施設廃止・新設工事基本協定の締結について	3	○	●	●	●	○	○	●	○	●	○	△	○	○	○

## 4 議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

### 藤岡 緑 議員(16ページ)

- ◆小中学校の「ブラック部活動顧問」問題への考えは
- ◆BCPと情報システムの考え方は
- ◆松前町ホッケー公園の国体後の活用は
- ◆計画的施設整備への考え方は

### 影岡 俊範 議員(17ページ)

- ◆小中学校の教室の空調設置は
- ◆ファミリーサポートセンターの詳細な内容は
- ◆警戒警報発令時の学校の対処は

### 金澤 浩 議員(18ページ)

- ◆公の施設の管理に関して
- ◆二名保育所の廃止に関連して
- ◆防災担当理事の業務は
- ◆専門職の教育をどう考えているか
- ◆議会のチェック機能をどう考えているのか



### 加藤 博徳 議員(19ページ)

- ◆伊予鉄郡中線の新設踏切の開始時期は
- ◆公共施設等の事業費用の対応は
- ◆放置自転車等の防止及び対応策は
- ◆事業金額算出における専門職の育成は
- ◆西公民館の施設活用および防災対策は
- ◆JR北伊予駅自由通路のコストダウンの検討は

## わかりやすい 一問一答に

●議会基本条例にも謳<sup>うた</sup>っている一問一答を、更にわかりやすくするため、件名ごとに質問し、それだけに回答する方式を採用しました。

●以前は、最初に全質問を行い全回答という形をとり、内容により回答が前後するようになることがあって、わかりにくいという欠点がありました。  
●今回はそれを是正し、質問者や回答者はもちろん聞いている方々にとってもわかりやすい形になりました。

## 一般質問とは

●議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。  
●議員一人あたりの発言時間は45分以内です。  
(行政側からの答弁の時間は含まれません。)



部活動で活躍する皆さん、堂々行進（岡田中）



藤岡 緑 議員

## 中学校の『ブラック部活動顧問』って

**問** 教員の通常業務の増加による勤務時間の長期化、特に部活動顧問の土、日出勤など「ブラックな職場環境」というイメージがある。町内の中学校の実態は。

**答** 教育長

昨年10月から教育委員会と校長会の協議で部活動に休養日を設定。授業日は週1日・土、日、祝は月2日以上長期休業中は週2日以上と定めた。それを中学生の全ての保護者に通知し現在は部活顧問の長時間労働の問題はない。

**問** 教員の長時間労働に対しての町の対策は。

**答** 教職員の意識改革、学校行事や会議の見直しなど校長会と協議を重ね、今年6月から出勤時刻の記録、お盆の3日間の学校閉鎖、ノー残業デーなどに取組んでいる。

**問** 外部の力を借りて部活動を運営する考えは

**答** 町内3中学校で32人中15人を教員で、経験値の浅い17人は、外部指導者の協力を得ている。成績第一主義ではなく、人材確保には各種競技団体と協議し直接面談し適任している。

**問** 自治体が運営する公営部活の考えは。

**答** 公営部活は費用も多大だ。教員の長時間労働も緩和されている現時点で、採用する考えはない。

## BCPと情報システムの考えは

**問** BCPとは、不測の事態が起こっても重要な事業を中断させない事業継続計画のことだが、町の体制はどうなっているか。

**答** 総務課長

平成25年3月に震災対策編、新型インフルエンザの発生に備えてのBCPはできている。ただ不正アクセスによるシステム停止などの被害に対応するものまでではない。

今後電算関係の協定各社と協議していく。

**問** 災害時により的確にスピーディーな対応ができるし、平常時にも住民基本台帳を基盤にしている被災者支援システムの導入が急がれる。町の考えは。

**答** 県内市町で統一したシステムを使用し市町間の応援の円滑化や被害認定調査結果のばらつきを抑制する。

県下一斉のシステム導入に向けワーキンググループのメンバーとして本町も参加しているので、これも検討事項となる。



影岡 俊範 議員

育児のサポート 子育てのSOSにお応えします！

## まさきファミリー・サポート・センター

### 「ma★ma・ほっと」

随時登録できます (登録は無料)

**サポート会員**  
子育ての手助け(子どもの世話)ができる人

**利用会員**  
子育ての手助けをしてほしい人

事務局

① 援助依頼 ② 援助打診  
③ 連絡 ④ 承諾

利用会員 ← ④ 援助 → サポート会員  
⑤ 謝金

※ 登録してから援助する方を決めます。  
※ 援助前に事前打合せを必ず行います。

**問** この子育て援助活動とは、子育てを地域で支えるため、登録している会員同士が相互に援助する活動だ。

**答** 福祉課長

**問** 設置場所、支援内容あるいは登録制度、利用運営状況について御説明いただきたい。

事務所は、松前町総合福祉センターの2階の地域子育て支援センターにある。  
 仕事内容は、保育施設への送迎や、保育施設の開始前や終了後または学校の放課後の預かり、保護者の病気や急用などにおける預かりや世話、

病児、病後児を預かる緊急援助活動だ。利用会員は、児童の家やサポート側の家を使う。  
 利用会員284人、サポート会員69人。年度の活動総件数1377件。保育所、児童クラブの送迎670件、保育施設の保育開始前や終了後の預

かりが650件、緊急援助活動が39件。  
 サポート会員の温かい心遣いを感じ、子育ての相談相手がいることで安心して仕事や子育てができるという声を聞く。  
 新しく松前町へ引っ越してきた家庭の中には、援助活動を通して少しずつ新しい環境になじんでいく姿が見受けられる。

## 小中学校の教室に「エアコン」導入は

**問** 最近30年間の最高気温35度以上の年間日数が、それ以前の30年間の1.7倍に上がっている。当時の文部省は最も学習に望ましいのは、夏で25度から28度程度としている。松山市は本年度中学校、来年度には小学校に設置するということになっている。

**答** 教育委員会事務局長  
 各教室には扇風機を配置しているが、近年の猛暑への対応は十分とは言えない。空調施設整備の必要性は認識している。整備に当たっては国の補助制度を活用する方法や民間活力を導入したPFI事業などの手法もある。

今後当町にとって有利な整備手法を検討、財政状況を勘案し、空調施設の設置に向け研究したい。

**問** 初期投資を抑え、コストの平準化ということで、リースと言う方法もあるが検討はしないのか。

**答** 国の補助制度3分の1も、財産を取得しての補助金だから、リース方式にした場合には補助金が受けられない。

**問** PFIは事業規模が関係する。1市2町が集合体となって、PFIを進めていく。あるいは、防犯灯のLED化とエアコン事業を統合するなどを検討できないか。

**答** PFI、民間企業の資金を活用した事業を進めることも今後検討していきたい。



金澤 浩 議員

子育て先進地欧米では、  
子どもの施設はコンペ（競争）が常識だ！

公の施設の管理に関して（被害が小さいうちに、直しているか？）

**問** ①若葉、二名保育所等の維持保全記録や施設管理台帳はあるか。

②補修申請と補修に至る仕組みや、記録はあるか。  
③公共施設等総合管理計画全体の予算策定と優先順位は、誰がどのように決定するのか。

**答** **副町長**  
①施設の維持保全記録、予防保全対策、整備補修計画を掲載した施設管理台帳は無い。

②担当課へ修繕伺いを提出後、緊急性や必要性、経費等を検討し適宜修繕対応している。  
また、その記録は、文書保存年限の範囲で保管している。しかし補修履歴を整理した補修実績の記録は作成していない。

③建物の建築年、耐震性、利用状況、コスト等多角的な視点から施設の評価を行い、施設を管理する所管課が、今後10年程度の間計画する改修や更新に関する工程表を作成。

各庁内会議で必要性の検討や実施時期の調整を行う。最終的には町の財政状況を踏まえ、町長が実施の優先順位を決定する。

二名保育所の廃止に関連して（子ども達が中心の）考え方か？

**問** 比較のため、先例である町立若葉保育所を廃止した時の検討プロセスは。

**答** **保健福祉部長**

近くに私立認定こども園の建設予定があった状況や、施設の改修や建て替えの経費を踏まえると、効率的な運営に改善するためには、町内の保育施設の競合を避け、民間活

力を導入することにより安定した保育所運営を図る必要があると判断。  
認定こども園開設後、若葉保育所を廃止する方針を決定した。

**問** 3月議会で、保育は、町営でなくても十分、私立園で賄えると考えている。と町長の答弁があった。どんな数字で比較したのか。

**答** 「町営の存在意義は、私立園を含めて町内全体の保育の質の向上を図るべく指導的立場で牽引することである。」という趣旨で発言したものであって、数値という概念はない。

**問** 北伊予小学校の非常階段の壁面が剝離し、修繕の緊急性があったが、依頼から工事完了まで半年以上かかったなぜか。

**答** **副町長**

原因がどこにあるのか、どの程度に影響が及んでいるのか等、全体を見ないと分からない為、そのような時間も必要と考えている。

**問** 二名廃止後、公立だから出来た保育の質の担保を、どう考えているか。

**答** 認可を受けている保育施設は、国の定める保育指針に従って保育を行うこととされている。その上でそれぞれの特性を生かした保育の提供を行っていることから、公立、私立を問わず、どの保育施設でも一定の質の担保はされているものと認識している。



加藤 博徳 議員



ラウンドアバウト完成予想図

## 町道西古泉筒井線の完成時期の変更はなぜ

**答** まちづくり課長

町道西古泉筒井線の道路延長700メートルのうち約400メートルの盛り土工事が完了している。

完成時期は、本年6月定例会の一般質問で国の補助金の交付額が要望額に対して非常に低いため

未定と答えた。だが、国

からの補助金が今の水準で交付されることを前提に、改めて検討した結果、平成33年度中の完成を目指す。ただし、様々な

社会情勢の中で補助金の交付状況が悪くなった場合は、工事の完了が延期することも考えられる。

本年度は、エミフル側

の交差点改良(ラウンドアバウト)と伊予鉄道郡中線の踏切新設工事に着手し、今年度と来年度の2か年にわたって工事を

行う。踏切の新設に伴い廃止される踏切は、岡田農協踏切と筒井東踏切になる。

## 公共施設等統合管理計画費用の算出精度は

**問** 事業費は個々の施設を細かく見て試算した事業金額ではないのか。

**答** 町長

そのとおりだ。

定めた基本的な考え方、方針に基づいてこれから個々の施設をどうしていくかを検討して考え方をまとめた計画だと御

理解いただきたい。

400億円は、今ある施設をずっと持つとすれば、いくら必要かを施設ごとに算出したものだ。

体育館であれば、大規模改修するのは1平米当たり何円という単価が国から提示されていて、それを単に面積に掛けて積み上げた金額が400億

円だ。それを詳細に計算

することは今の段階ではできない。計算する意味もないということだ。細かい内容は、今後、その方針に向かって計画を立てていく。

**問** ラウンドアバウトと踏切工事が完成しても、町道西古泉の完成が4年先であれば、それまで踏切の利用出来ないのか。

**答** それまで利用できない。

**問** 今後の組織運営は。

**答** 副町長

庁内組織、公共施設等総合管理計画をこれから実効性のあるものにしていくために各部課長で組織している。

**総合計画推進検討委員会**、これ全庁的な組織です。その上に**公共施設等管理計画推進本部**というのをつくっている。

# 研修報告

## 目的

**FMが今なぜ必要なの？**

総務産業建設  
常任委員会

(8月18日～19日)

・FMとは、ファシリテイ  
マネジメントのこと。

・意味は

土地・建物・設備といっ  
たファシリテイを対象と  
して経営的な視点から設  
備投資や管理運営を行  
い、施設に係る経費の最  
小化や施設効用の最大化  
を図る経営管理手法のこ  
とをいう。

少子高齢化・人口減少  
の時代を迎え、行政には  
将来を見据え老朽化した  
公共施設をどう運営する  
のか、維持か、解体か、統  
合かを問い直すことが迫  
られている。

その方針を10年前から  
先進的に進めてきた2市  
を訪問し、その手法は対

照的で特徴的な相違点  
はあるが、大きな成果を出  
している活動について学  
ぶことができた。

### 1日目

●研修地

千葉県佐倉市

### ●研修内容

平成20年9月にFM推  
進基本方針を作成してい  
る。

特徴的な事は、ファシ  
リテイ情報の一元化及び  
共有化。

縦割り行政を横断的に  
つなぐ専門部を作ったこ  
とである。

①小学校の事例では、水  
道料金のばらつきに注  
目し、地道な濾水調査  
で補修工事、男子トイ  
レハイタンクの流量調  
整で年間1300万円  
の削減。

②消防署は不要階の減築  
により耐震性を保ち  
6億4千万の工事費を  
減額。

③ESCO事業の導入効  
果の見える化で228  
%の達成率を上げる。

### 2日目

●研修地

東京都武蔵野市

### ●研修内容

平成27年度、経常収支  
比率80.8%、財政指数  
1.47でいわゆる不交付  
の優良団体。

社会環境の変化に早く  
から対応「計画的施設整  
備」の導入に組みその  
ベースに公共FMが取り  
入れられた。

既存の建物の量より質  
の見直しから始め劣化保  
全整備に力を入れ、道連  
れ工事という考え方も導  
入している。

二度手間にならないよ  
うな関連工事も続いて行  
うなど、優れたコスト計  
算のもと地道なデータ集  
積と情報のチェックによ  
りFMを実施している。

先進的なFMの取組みに思わず「スゴイ！」  
(佐倉市)



## 目的

**幼保連携・放課後児童健全  
育成事業の先進地の事例を学ぶ**

文教厚生  
常任委員会

(7月31日～8月1日)

### 1日目

●研修地

神奈川県横浜市

### ●研修内容

横浜市の民間「ゆうゆ  
うのもり幼保園」では、  
平成17年開園2年後に認  
定こども園となり204  
名の園児がいる。

同市では待機児童をゼ  
ロにするため、毎年約40  
箇所の施設を作っている。

この園では、理事長の  
母親から貴重なノウハウ  
が受け継がれており、そ  
れを土台に計算された新  
たな試みを展開している。

この継続された経験や  
知識をもって、事業にあ  
たる重要性を改めて感じ  
た。

また、躰や優しさは園  
児が自発的に、身につく  
よう工夫して指導してい  
ると聞いた。

また、保護者同士の意  
思疎通や活動の拠点とな  
る場所を休日を含め常時  
解放しており、地域に開  
かれた施設になっている。

### 2日目

●研修地

神奈川県二宮町

### ●研修内容

二宮小学校放課後児童  
クラブは、28年まで保  
護者会が行う公設民営の形  
であったが、保護者の負  
担が大きいので民営委託  
となった。

場所は小学校の空き教  
室を利用しているため、  
児童の移動が容易であり  
利便性が良く、防犯・防  
災上も有利と感じた。

夏休み中は女子高生  
(OG)なども参加してい  
て、和やかな雰囲気を感じ  
られた。

また、中古の座卓が多  
く用いられており、費用  
がいらす、良いアイデア  
だと感じた。



工夫とアイデア満載の放課後児童クラブに！

## 用語説明

※幼保連携とは…

幼稚園と保育所の両方の機能を持つ施設で、就学前の子供の教育・保育・子育て支援を一体的に提供するもの。

## まとめ（今後について）

### ○総務産業建設

両市とも一人二人の意識ある職員の地味なデータ集積と分析から始まっている事実。

今回、職員も同行し、FMの真髓を体感されたと思う。

これから住民への説明責任を果たす上で、明確なデータを持って計画を示す必要がある。

それには、行政と議会はFMと公会計に真摯に取り組まなければならぬと考える。

### ○文教厚生

何事も執行するのは、行政側ではあるが、双方で調査・研究をしてゆくのは当然のこと。

議会側としても、気付いた点は幅広く率直に意見や提案をしていきたい。

今後も停滞することなく、このような先進地に学び審査の参考にしていきたい。

## 第一回町議会議員研修会に参加して

### 前半

7月25日、愛媛県内9町の町議会議員と事務局員138名が参加して道後メルパルクにて研修会が実施された。

講師は順天堂大大学名誉教授 奥村康氏。



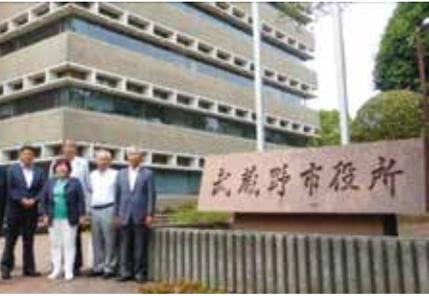
### 後半

「そこまで言って委員会NP」などテレビ出演されている、ジャーナリストの長谷川 幸洋氏の講演を拝聴した。



### ●感想

普段テレビ等で拝見し、感じている以外に、現場でしか感じ取れない生々しい情報を織り交ぜながら語っていただいた。さらに、水面下での駆け引き等も含めて、判り易いお話だった。今後の活動に生かしたい。



奥村先生には「不良長寿のすすめ」と題して、性格と寿命の関係、体内に潜む免疫のクーデターの実態と、その影響について、また父と娘、母と息子の仲がなぜ良い関係を保つことが多いのかなどを遺伝子レベルにさかのぼり、人間としての生き方の大切さなどをユーモアを交えてお話いただきました。

長谷川 先生には、「激動する世界／日本の針路を考える」と題して、憲法9条問題、安全保障、増税、対、アメリカ、中国、ロシア、韓国、北朝鮮など世界に対して、日本の政治展望と国内の政権の動向について詳細にお話いただきました。また天



下り問題については、東京メトロと国交省、都営地下鉄と東京都の関係有近々の例を取り上げて熱く語ってくれました。

# ★これも気になる 一般質問

各ページに掲載  
できなかった、  
これだけは言いたい  
事を集めて

**Q 国体後の松前町ホッケー公園をどう活かす**

**A** 指定管理者制度の導入を検討している。県内唯一の日本ホッケー協会公認の競技場であるため強豪チームの誘致や有名選手の招待、各種イベント開催など、ホッケーの町松前を築き上げたい。

グラウンドゴルフ、フットサルなど、多目的利用もできる。

(藤岡緑議員の質問より)



**Q 警報発令時「児童クラブの児童」も一律集団下校となるのか。**

**A** 児童の保護者は就業等により自宅に不在であることを勘案し、一律に帰宅させるのではなく、児童クラブでの待機とし、保護者に迎えに来てもらうこととしている。

(影岡俊範議員の質問より)

**Q 技術職、専門職の人材育成について**

**A** 主に研修により実施している。専門の研修機関の派遣や各種の講習会への参加と日常業務からの技術伝承により職員の技術力向上に取り組んでいる。来年度は建設技術全般のスキルアップのため愛媛県建設技術支援センター主催の研修を導入する。

(加藤博徳議員の質問より)

**Q 防災担当理事の業務と、その成果は**

**A** 町長直轄の立場で、町長からの特命事項としての防災対策や防災対策全般を検証。必要な指示を出し、対策の実現や体制の充実を図ることを担当している。

また、災害時、町長・副町長が指揮をとれなくなった際は、代理として指揮をとる立場でもある。

成果は、庁内横断的な体制で防災への取組を進めたほか、地域防災計画の策定、原子力災害による避難者受け入れ計画の策定、総合防災訓練の企画立案等がある。

(金澤 浩議員の質問より)

## 議会基本条例作業部会から

★新体制後も議会改革を  
続行し、引き続き同じメ  
ンバーで、多くの事項に  
対し積極的議論を展開し  
付託に応えていく方針  
だ。

- I 予算決算常任委員会  
の審査期間等の見直し
- II 議会報告会開催要項  
の作成
- III 災害時の危機管理体  
制の整備、マニュアル  
の作成
- IV 全員協議会の定例開  
催
- ★他、一般質問の通告書  
の提出期限の延長など、  
順次協議し、取りまとめ  
て部会案を上程する。



## 町民の声

台風18号

西高柳 M・K

ここ数日、気候変動に伴う洪水や高潮で、日本列島のどこかで被害が生じ、松前町も例外ではない。先日の台風18号がそうだ。

私も人生初の避難を経験する事になった。凄まじい勢いで荒れ狂う重信川は本当に恐怖の一言で

ある。地域の避難訓練も毎年参画してきたが、従来の想定よりも厳しい現実だったし、様々な課題を突き付けられた水害だった！

①避難放送 勧告 指示

・豪雨・強風で聞こえない

②避難所の開設場所

重信川決壊

・川の近くの施設で安全か？

③高齢者及び歩行困難者への支援

・垂直避難は自宅でも

厳しい。

④指定避難地の備蓄品

・最低限の物資は必要

⑤ペットと同行避難

・ケージに入れて同行を

夜の避難の大変さを痛感したが、停電しなかった事が最大の幸運だった。電気が点かない状況を想像すると背筋が凍る！

自助・共助・公助だが、近所の絆が一番だと思いき知らされた。



## 傍聴席

新しい試みが

大成功

中川原 山本成佳

松前町の九月定例議会が八月二十九日に開会し、九月四日の一般質問において、新しい試みが採用された。

今までの「一括質問・回答」が「一問一答」の形式に変わったのだ。

一件の質問の後に、理事者が答弁することにより、当事者も町民にも分かり易く、論点や争点を明確にすることができた。

新しい試みは、大成功だと思ふ。

ただ、傍聴者の少なさが気になる。

町民が選んだ議員が何を質問しているのか、理事者側がどんな答弁をしているのかを一人でも多くの町民が町議会を傍聴して、知ってほしい。

また、町民主体の町づくりが出来ているのか感じてほしい。もっと、町民は政治に関心を持ってもらいたい。

町の財政状況、地域防

災力の充実、教育環境の改善・充実、山積み

している問題の早期解決をお願いしたい。

理事者と議会は、町民が何を望んでいるのか、もう一度考えてほしいのだ。



## 「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは11月末です。

投書多数の場合は、委員会でご掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

### 【宛先】

松前町筒井631  
議会広報常任委員会 「町民の声」  
Fax 985-4148  
E-mail  
500gikai@town.masaki.ehime.jp

## 傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

(次回は12月初旬〜中旬の予定です。)

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っております。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。





# 松前町で生きる & みんなで支える

## 第72回 国民体育大会「愛顔つなぐえひめ大会」壮行会にて



ホッケー成年女子に出場する西村友希さん(松前小教諭・出作)、初手安也美さん(岡田中教諭・昌農内)のお二人にインタビュー。



初手さん 西村さん

★健闘を祈ります！



**Q** チームとして三位入賞を目指している。

**A** 今年の目標は。

**Q** 地元開催にあたり意気込みは。

**A** 今まで多くの人たちに支えて頂き、応援していただいた。感謝の気持ちを胸に精一杯プレーして良い結果を報告したい。

**Q** 今日にいたるまでに苦労したことは。

**A** チームとして一つの目標に向かっていく中で、気持ちの面でついて行けなくなることもあったが、みんなで支え合うことで今は一つの目標に向かって練習に取り組むことが出来ている。

★今回の改選で広報委員も少し入れ替わりがありました。

### 議会広報常任委員会もリフレッシュして

★一年生議員は、全員残ってくれてやる気と集中力で、広報紙の編集力もかなりグレードアップしてきました。

★また地味な作業の多いこの仕事を引き続き受け取ってくれた委員やしばらくぶりの復活委員も加わって、再びこれから2年、広報列車は走り続けます。

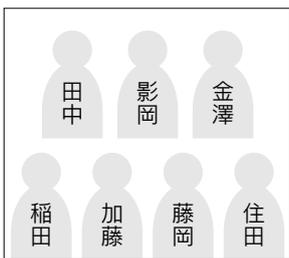
★議会基本条例にもズバリ住民の皆さんに開かれた議会として、情報公開を更に進めていくことを明言しています。

「議会だより」は、その大事な広報紙です。

★そのため本紙の一字一句が、とても重要な意味を持ち、編集会議においても時には激論をしながら作り上げております。

★これからも皆様に愛され読んで頂ける広報紙の編集に努めますので、よろしくお願い申し上げます。

議会広報常任委員長 藤岡 緑



### 編集後記

私たち新人議員も1期目2年の折り返しを迎え、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、行政とより良い連携を図りながら、町民の付託に応えていけるよう努力し、地方議員としての視野を広げている段階です。

そのような中、申し合わせ2年任期満了に伴い、新たな議長、副議長、併せて各議員所属の常任委員会の構成が決まりました。

新しい議会体制の元、地域に密着した活動を展開しながら議会改革を進め、町民目線で地域住民の皆様の生活向上、そして安全で安心して暮らせるまちづくりに向け尽力してまいります。(田中周作)

- 議会広報常任委員会
- 委員長 藤岡 緑
  - 副委員長 金澤 浩
  - 委員 加藤 博徳
  - 委員 稲田 輝宏
  - 委員 影岡 俊範
  - 委員 田中 周作
  - 委員 住田 英次



この広報誌は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。